

現行基準の課題

- ・ 現行の住宅性能表示制度における省エネ性能に係る等級は、**現行の省エネ基準相当等が最高等級。**

＜断熱等性能等級＞

等級	要求値 ^{※1}
等級4	U_A 値 ^{※2} ≤ 0.87 (省エネ基準)
等級3	U_A 値 ≤ 1.54
等級2	U_A 値 ≤ 1.67
等級1	—

＜一次エネルギー消費量等級＞

等級	要求値
等級5	BEI ^{※3} ≤ 0.9 (省エネ基準 ▲10%)
等級4	BEI ≤ 1.0 (省エネ基準)
等級1	—

※1 6地域（東京等）の場合 ※2 外皮平均熱貫流率（住戸内外の温度差1度当たりの総熱損失量（換気による熱損失量を除く。）を外皮の面積で除した数値）
 ※3 基準一次エネルギー消費量に対する設計一次エネルギー消費量の割合（その他一次エネルギー消費量を除く）

- ・ 地方公共団体等において、ZEHを上回る断熱性能の基準設定等が行われる中で、現行の住宅性能表示制度では、**ZEHやそれを上回る省エネ性能を評価することができない。**

（参考）ZEH基準

分類・名称	外皮基準 (U_A 値)			一次エネルギー消費量削減率	
	地域区分			省エネのみ	再エネ等含む
	1・2	3	4～7		
ZEH	0.4以下	0.5以下	0.6以下	20%以上	100%以上

改正内容

- ① ZEH水準の等級については、既に普及している基準が存在することから、当該基準を速やかに位置づけ。
 →断熱等対策等級5・一次エネルギー消費量等級6の創設 【R3年12月1日公布、R4年4月1日施行】
- ② ZEH水準を上回る等級については、**基準のあり方等についての検討を踏まえ位置づけ。**
 →断熱等性能等級6・7（戸建住宅）の創設 【R4年3月25日公布、R4年10月1日施行】